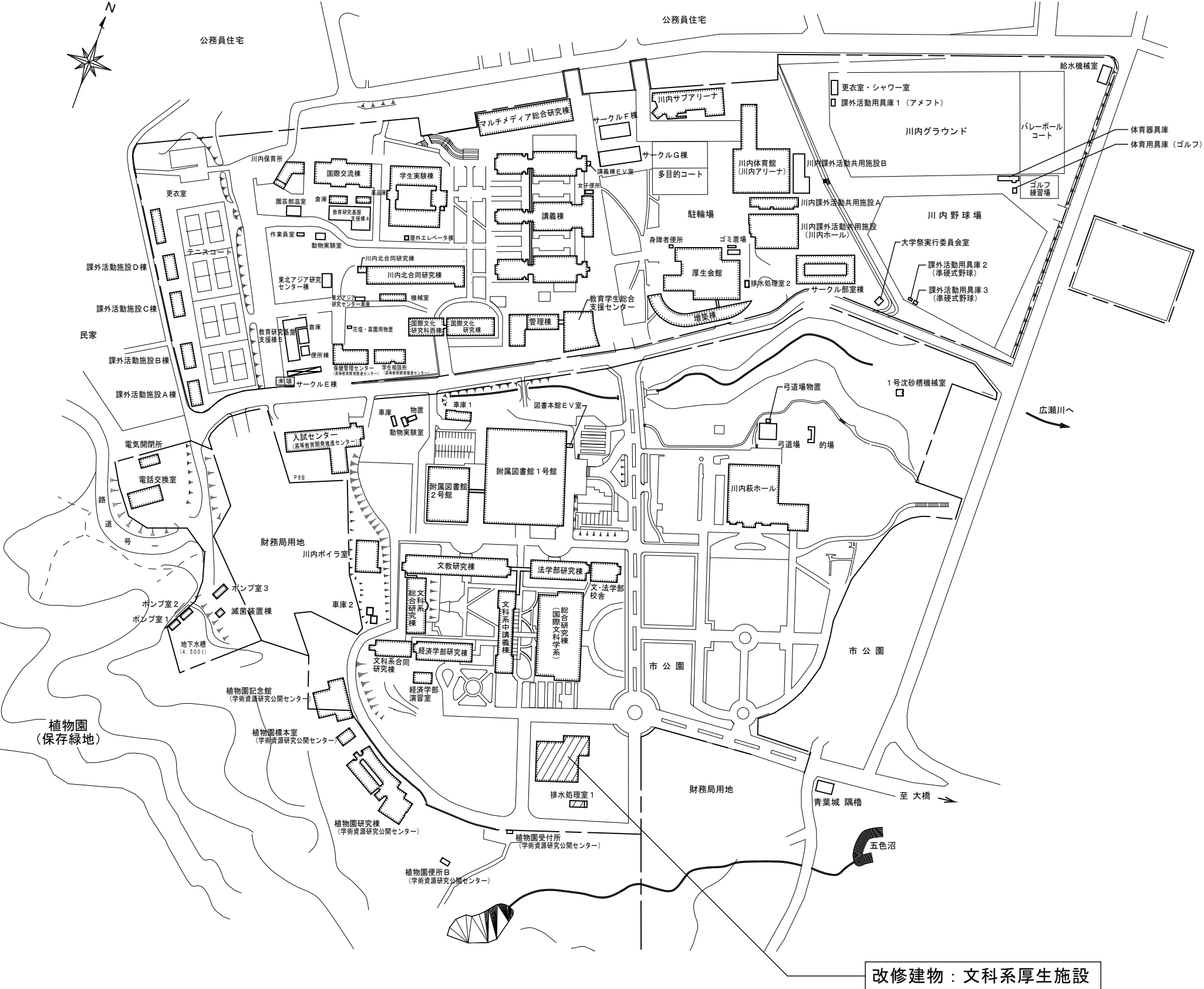


《工事概要》 東北大学（川内1）川内南 commons（文科系）改修その他機械設備工事



【事業概要】

- ・本事業は、既存の文科系厚生施設について、国際化を牽引するグローバル人材の育成、アントレプレナー教育の実施、国内外の会議開催など、教育研究活動の拠点を整備し、本学が国内最大規模を誇る「国際共修授業」のほか、産学官の様々な分野でグローバルに活躍できる人材を輩出する学生交流拠点とすることで、言語・文化を超えてともに学ぶ国際共修キャンパスの創造への貢献を目的とした事業である。
- ・学生・教職員等のキャンパスライフを支える福利厚生施設としての機能を備えた「イノベーション commons」として、学生の多様な自主活動や教員による地域社会連携活動を支える場を再生整備する。
- ・整備建物については、ZEB Ready を実現し、カーボンニュートラルに資する施設とする。

【建物概要】

建物名称：文科系厚生施設
構 造：鉄筋コンクリート造
階 数：地上1階
建築面積：1,347.59㎡
延べ面積：1,296.37㎡

【工事概要】

工事場所：宮城県仙台市青葉区川内27-1
（東北大学川内1団地構内）
完成期限：2026年2月27日

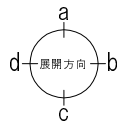
工事種目	
・空気調和設備	
空冷ヒートポンプパッケージ形空調機	8台
（ルームエアコン含む）	
外調機（厨房用）	2台
・換気設備	
全熱交換形換気扇	15台
排風機（厨房用）	1台
・自動制御設備	
・給排水衛生設備	
・給湯設備	
・都市ガス設備	
・屋外配管（給水・排水・都市ガス）	
・排水処理設備（グリーストラップ等）	

【別途工事】

建築工事 一式
電気設備工事 一式

【施工条件】

- ・工事期間中、大学行事及び入試等により工事の中止（予定日数15日程）及び騒音・振動作業の発生に対する制限がある。具体的な日時については監督職員との協議による。
- ・キャンパス内の各種施設が稼働しながらの工事であるため、騒音・振動・安全対策等を徹底すること。
- ・本工事現場は埋蔵文化財包蔵地のため、文化財保護法の規定による制限を受けており、切土・根切り等の掘削作業は、東北大学埋蔵文化財調査室による立会を受け、その指示に従って施工することとし、受注者は工程表、施工計画書を着手の2週間以上前に監督職員に提出し、承諾を受けること。また、文化財保護法の規定により必要となる工事写真、図面等の提出は監督職員の指示によるものとする。



	改修範囲外を示す
	床スラブ取壊し範囲を示す グリッド1070×D145×H（グレーチング） 網1：5000×9500×H
	表層土間撤去範囲を示す
	150角磁器タイル張り撤去範囲を示す
	基礎撤去範囲（設置用）を示す
	コンクリート壁撤去範囲を示す 特記無きは以下による （壁）FL～FL2700（小口下地調整を見込む）
	FLからの床レベルを示す 特記無き限りFL±0とする
	円錐 SGP 特記なし限りφ100 撤去
	カ1：L字型：4550×3110 D=300 H=800 カ2：L字型：4150×2810 D=250 H=900 カ3：H=2100 D=148 H=800 カ4：L字型：2095×2210 D=300/106 H=1050 カ5：H=2100 D=457/611 H=920 カ6：L字型：7810×2210 D=300/106 H=900
	ラ1：L=1300 D=1215 H=1000 ラ2：H=1615 D=150 H=1000 ラ3：H=1840 D=150 H=1000 ラ4：H=2400 D=150 H=1000 ラ5：H=1870 D=150 H=1000 ラ6：H=2000 D=150 H=1000 ラ7：L字H=1900×1215 D=150 H=1000
	テ1：L=8635 H=800 D=100 テ2：L=10560 H=800 D=100 テ3：L=16870 H=800 D=100

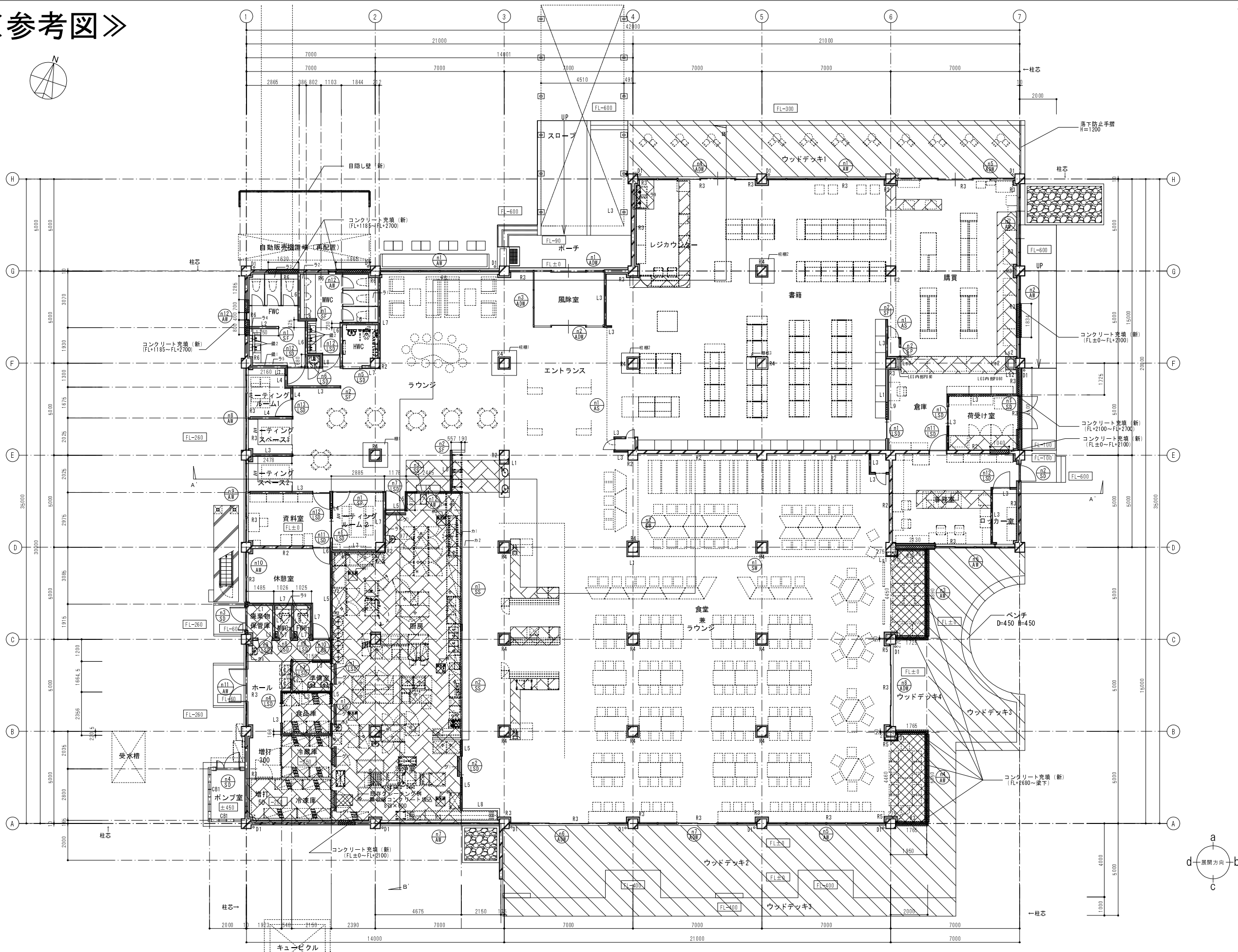
符号	壁仕様(※が付いたものは片面)
R1	(A)ー
R2	(A)・M仕上
R3	(A)・PU・GB-R12.5(GL)・仕上
CB1	(CB)・
L1	LSG(W65)・仕上(両面)
L2	LSG(W65)・GB-R12.5仕上(両面)
L3	LSG(W65)・GB-R12.5・GB-H9.5仕上(両面)
L4	LSG(W65)・GB-R12.5・FK4仕上(両面)
L5	LSG(W65)・GB-R12.5・FK3仕上(両面)
L6	LSG(W65)・GB-R12.5・FK3仕上(両面)
L7	LSG(W65)・GB-R12.5・GB-H9.5仕上(両面)
L8,2	LSG(W65)・GB-R12.5仕上(片面)

開口開き方	開口部	数量	備考
■260×H125×D50	内壁	4	電気設備用
100φ H45	床	5	
100φ D45	内壁	30	
150φ H150	床	34	機械設備用
■150×H150×D50	内壁	2	
250φ D500	内壁梁	16	
150φ D160	外壁	30	
250φ D300	外壁	2	
250φ D500	外壁梁	50	
300φ D500	外壁梁	1	
150φ D80	既存小部屋壁	8	

(特記事項)

- (撤)撤去を示す。(図)既存のまゝを示す
- 特記なき限り内装具材は撤去し撤去とする
- 特記なき限り既存内装下地仕上げは全撤去とする
- 特記なき限り家具備品、設備機器類は全て移設済みとする(別記参照)
- 床(1)は特記なき限りR10(10mm)直挿し
- 壁躯体は特記なき限り、W=120にモルタル(t=25)のうす仕上げとする
- 特記なき限り、既存R10壁躯体に伴う柱、梁、床との切断面は、1/2巾の化粧合板を貼付し隠蔽することとする
- 特記なき限り、既存R10床に伴い撤去に伴い、はつり面の下地調整を見込む
- 特記なき限り、既存板R10床は既存縦筋モルタル埋めとし、外壁・外壁梁間には梁端補修を見込む

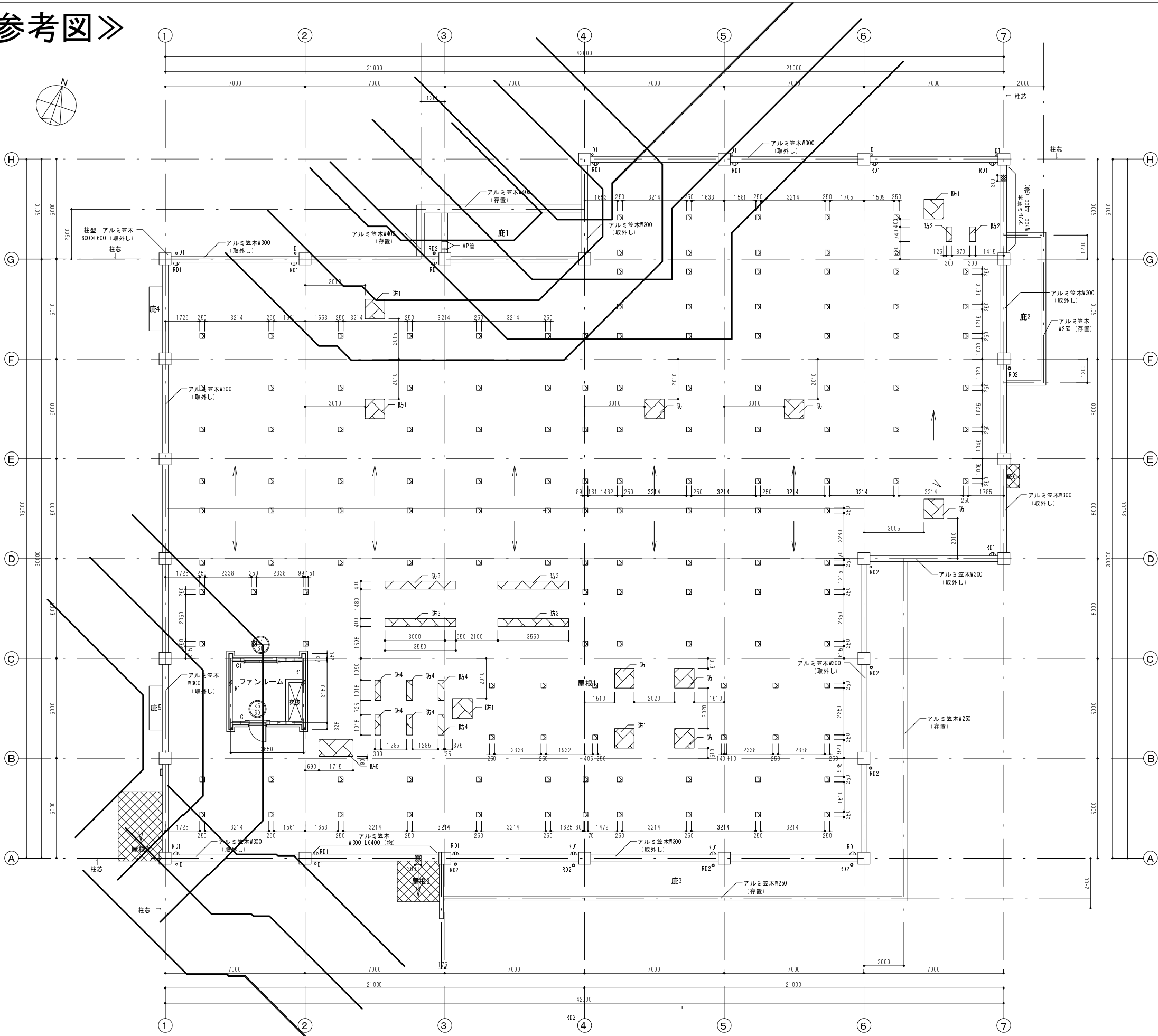
通し番号



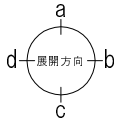
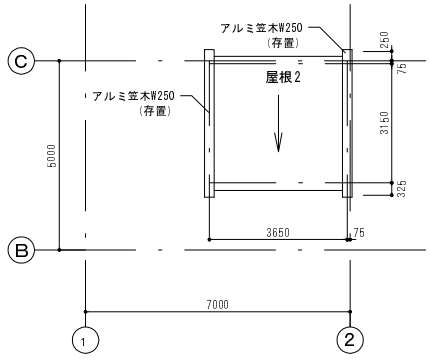
	深透玉石溝を示す		
	床スラブ増打範囲を示す		
	スラブ復旧範囲（設備用）を示す		
	コンクリート土間新設範囲を示す		
	コンクリート壁充填範囲を示す 特記書きは以下による （壁）FL=F-2700（小口下地調整を見込む）		
	FLからの床レベルを示す 特記書き限りFL±0とする		
D10	φ7mm SUS φ90 新設		
ライニング （新）	ラ1：W=2410 D=500 H=900 ラ2：W=2390 D=200 H=1200 ラ3：W=2610 D=260 H=800 ラ4：W=1485 D=180 H=1000 ラ5：W=1865 D=150 H=1030 ラ6：W=400 D=200 H=800 ラ7：W=1230 D=200 H=800 ラ8：W=650 D=200 H=800 ラ9：W=685 D=200 H=800		
カウンター （新）	カ1：W=13390 D=115 H=1000 カ2：W=13390 D=350 H=800		
柱網 （新）	柱網1：W=1350×1340 D=350 T=30 6段 柱網2：W=1350×900 D=350 T=30 6段 柱網2：W=550×575 T=30 6段		
鏡 （新）	鏡1：H1600×D15×H800 鏡2：H350×D150×H100（照明付） 例1：H1070×D145×H（グレーティング） 例2：H500×D500×H		
符号	壁仕様※がけ付いたものは片面		
R1	(A) -		
R2	(A)+仕上		
R3	(A+P)+GB-R12.5(GL)+仕上		
R4	(A)+LSG(W65)+GB-R12.5仕上		
R5	(A+P)+LSG(W65)+GB-R12.5仕上		
R6	(A+P)+GB-S9.5仕上		
CB1	(CB)+		
L1	LSG(W65)+GB-R12.5+9.5仕上(片面)		
L2	LSG(W65)+GB-R12.5+GB-S9.5仕上(両面)		
L3	LSG(W65)+GB-R9.5+12.5仕上(両面)		
L4	LSG(W90千円)+GB-R9.5+12.5仕上(片面)		
L5	* *GB-F12.5+GB-F12.5仕上(両面) LSG(W90千円)+GB-F12.5+GB-F12.5仕上(両面)		
L6	LSG(W90千円)+GB-F12.5+12.5仕上(片面)* *GB-F12.5+GB-F12.5仕上(両面)		
L7	* *GB-F12.5+GB-F12.5仕上(両面)		
L8	* LSG(W65)+GB-R12.5+GB-S9.5仕上(片面) * +GB-R12.5+9.5仕上(片面)		
L9	LSG(W65)+GB-R12.5 +LSG(W65)+GB-R12.5+9.5仕上(片面)		
設備機器等壁開口閉塞（各割合計）数量は別途設備工事による			
開口閉塞寸法	部位	数量	備考
W260×H125×D50	内壁	4	電気設備用
100φ IH5	床	5	
100φ D45	内壁	30	機械設備用
150φ HI50	床	34	
W150×H150×D50	内壁	2	
250φ D500	内壁梁	16	
150φ DI90	外壁	30	
250φ D300	外壁	2	
250φ D500	外壁梁	50	
300φ D500	外壁梁	1	
150φ D80	既存小部屋壁	8	
(特記事項)			
1) (撤)撤去を示す（既）既存のままを示す			
2) 特記なき限り内部建具は併全で撤去とする			
3) 特記なき限り既存内装下地仕上げは全て撤去とする			
4) 特記なき限り家具備品、設備機器類は全て移設済みとする（別途工事）			
5) 床いしは特記なき限りFL±0(20mm)直垂とする			
6) 壁躯体は特記なき限りF1打ち直し(隅)のうえ仕上げ直は、3ヶ月以内のうちに修繕を行うこととする			
7) 特記なき限り、既存貯蔵庫開口部には支柱、梁、床との切断直は、3ヶ月以内のうちに修繕を行うこととする			
8) 特記なき限り、既存和室はすべて撤去に伴い、はりり室の下地調整を見込む			
9) 特記なき限り、既存外部開口部はコンクリート塊の（上部H50）は、無収縮モルタル埋め）とし、外壁・外壁梁部は補修を見込む			

備 考	業務名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修設計業務		設計者 一級建築士 大臣登録第360022号 姓名 秀和	工事名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修その他工事							総尺 A1：1/100 A3：1/200
	管理建築士 第2290-70143L号 一級建築士大臣登録第360022号 姓名 秀和			図面名称 1階平面図（改修）							
	株式会社 権設計		設計年月 2025年3月	2024 年度 東北大学施設部	部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	担 当	図面番号
	一級建築士登録 第206054号 日野 秀明				木 村	矢 戸	大 山	石 谷	川 崎	大 石	通し番号

《参考図》

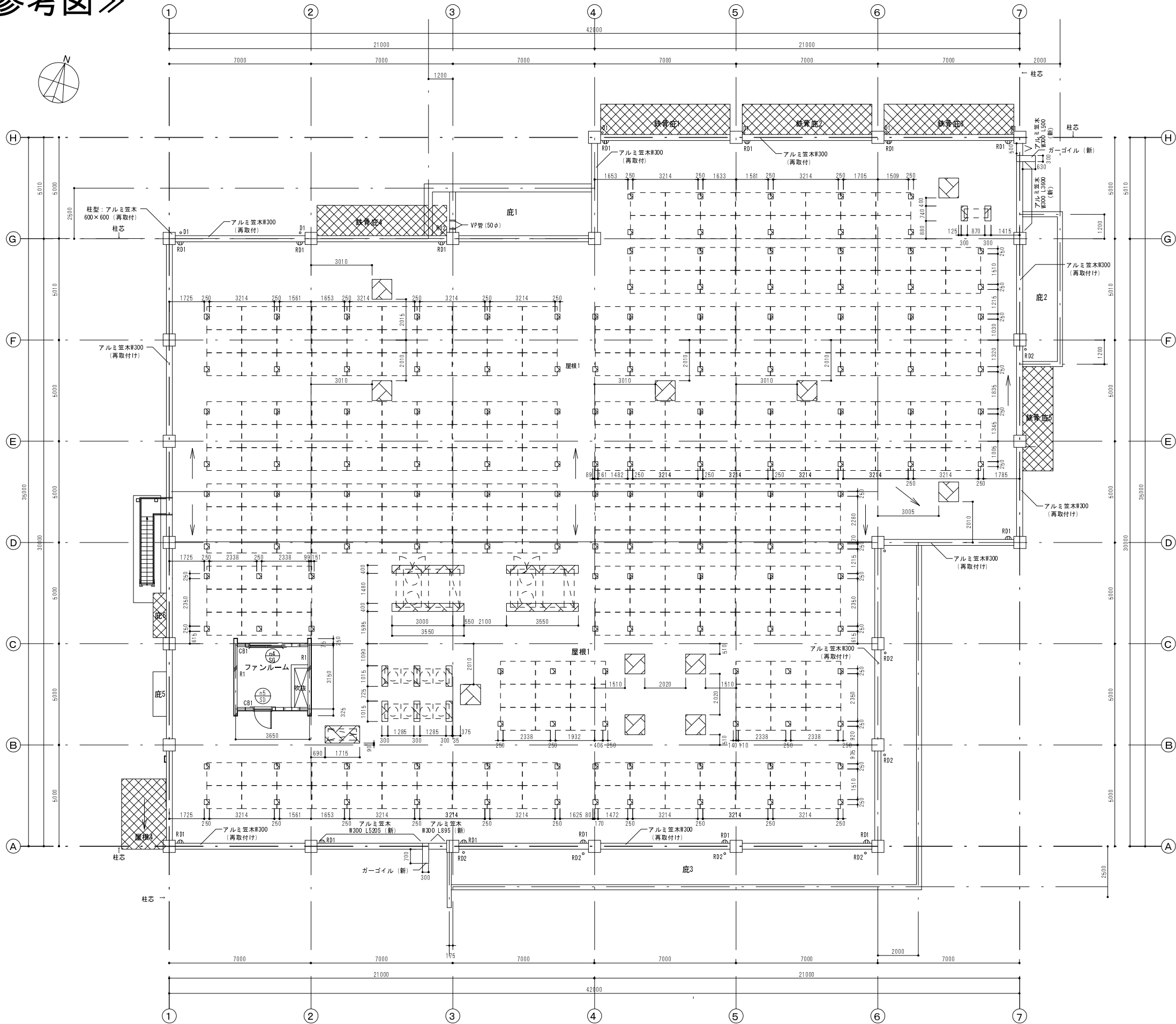


凡例(既存)	
	屋根・庇、取壊し範囲を示す
	防水撤去を示す
防1 防2 防3 防4 防5 防6	防水撤去：980×980（11箇所） 防水撤去：300×740（2箇所） 防水撤去：3550×400（4箇所） 防水撤去：1015×300（6箇所） 防水撤去：1715×856（1箇所） 防水撤去：250×250（146箇所）
RC(バラベント)	コンクリート壁撤去範囲を示す 特記なきは以下による (壁) 小口下地調整を見込む
D1	付随 SGP φ100 撤去
R01	改修用横型ルーフレイン90φ(撤)
R02	改修用縦型ルーフレイン90φ(撤)
VP	中継管(VP) φ50 存置
屋根1	合成高分子系ルーフィングシート防水(一部撤)
屋根2	モルタル防水(撤)
屋根3	モルタル防水(撤)
屋根4	波型スレート(撤)
庇1~3	合成高分子系ルーフィングシート防水(存)
庇4~5	モルタル防水(存)
庇6	モルタル防水(撤)
符号 R1 C1	(A)~ (C)~ 壁仕様
(特記事項) 1) 柱上部のアルミ笠木：全て取外し 2) 特記なき限り、既存RC壁撤去に伴う柱、梁、床との切断面は、4/17~4/18/19等に補修を行うこととする 3) 特記なき限り、既存RC床はつり撤去に伴い、はつり面の下地調整を見込む	

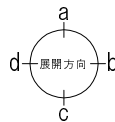
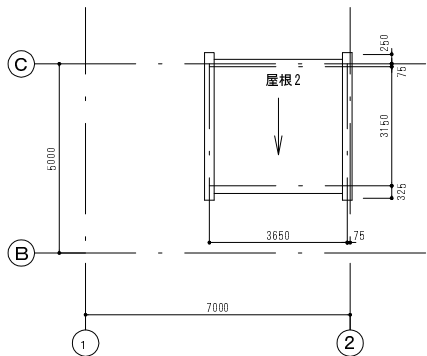


備 考	業務名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修設計業務		設計者 一級建築士 大臣登録第360022号 姓名 秀和	工事名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修その他工事						縮尺 A1：1/100 A3：1/200		
	管理建築士 第2290-70143L号 一級建築士大臣登録第360022号 姓名 秀和		図面名称 R階平面図（既存）									
	株式会社 雄設計		設計年月 2025年3月	2024 年度 東北大学施設部		部 長	次 長	課 長	課長補佐		係 長	担 当
	一級建築士登録 第295054号 日野 秀明					木 村	矢 戸	大 山	石 谷		川 崎	大 石

《参考図》



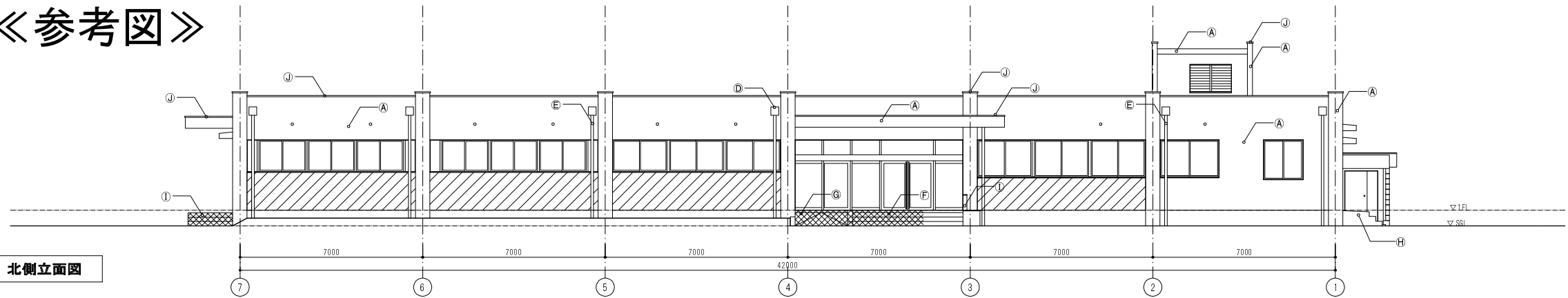
凡例(既存)	
	屋根・底、新設範囲を示す
	設備基礎新設を示す
D1 ○	行樋 SUS φ100 (新)
R01 △	改修用機型ルーフトレイン90φ (新)
R02 ●	改修用壁型ルーフトレイン90φ (新)
— VP管	中継管 (VP) φ50 清掃
屋根 1	合成高分子系ルーフィングシート防水t1.5 (機械式固定) (S4-S1) (断) 断熱材 押出法ポリスチレンフォーム 3種 bA t100(新)
屋根 2	ウレタン塗膜防水 (X-2) (新)
屋根 4	波型スレート (新)
底 1～3	合成高分子系ルーフィングシート防水 清掃
底 5	モルタル防水 清掃
底 6	モルタル防水(新)
鉄骨底 1～4	アルミ底 (既成) W=6410 D=1500
鉄骨底 5	アルミ底 (既成) W=5150 D=1500
ガーゴイル	SUS T-3 コの字加工
符号 R1 CB1	壁仕様 (A) - (CB) -
(特記事項) 1) 柱上部のアルミ笠木: 全て再取付け 2) 特記なき限り、既存RC壁撤去に伴う柱、梁、床との切断面は、#17-セキスイハイム等により補修を行うこととする 3) 特記なき限り、既存RC床はつり撤去に伴い、はつり面の下地調整を見込む	



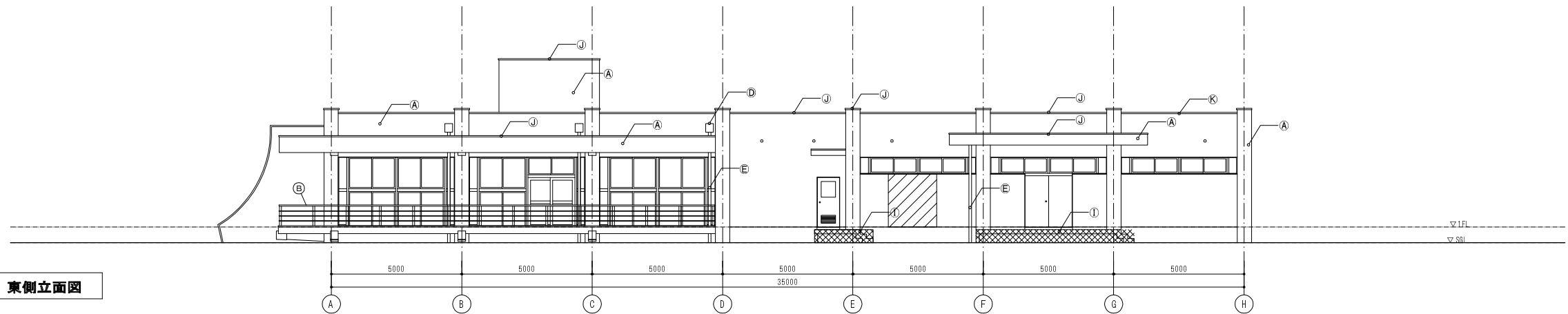
備考

業務名称 東北大学（川内 1）川内南 commons（文科系）改修設計業務		設計者 一級建築士 大臣登録第360022号 姓名 秀和		工事名称 東北大学（川内 1）川内南 commons（文科系）改修その他工事 図面名称 R階平面図（改修）						縮尺 A1：1/100 A3：1/200	
管理建築士 第296-70143号 一級建築士大臣登録第360022号 姓名 秀和				設計年月 2025年3月		2024 年度 東北大学施設部		部 長 次 長 課 長 課長補佐 係 長 担 当		図面番号	
株式会社 雄設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明		管 理 検 図 設 計 製 図						木 村 矢 戸 大 山 石 谷 川 崎 大 石		通し番号	

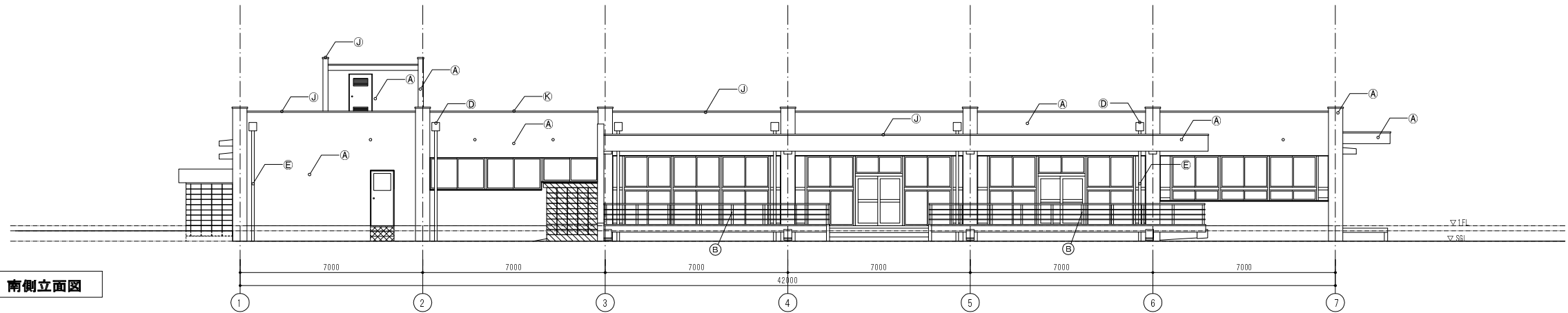
《参考図》



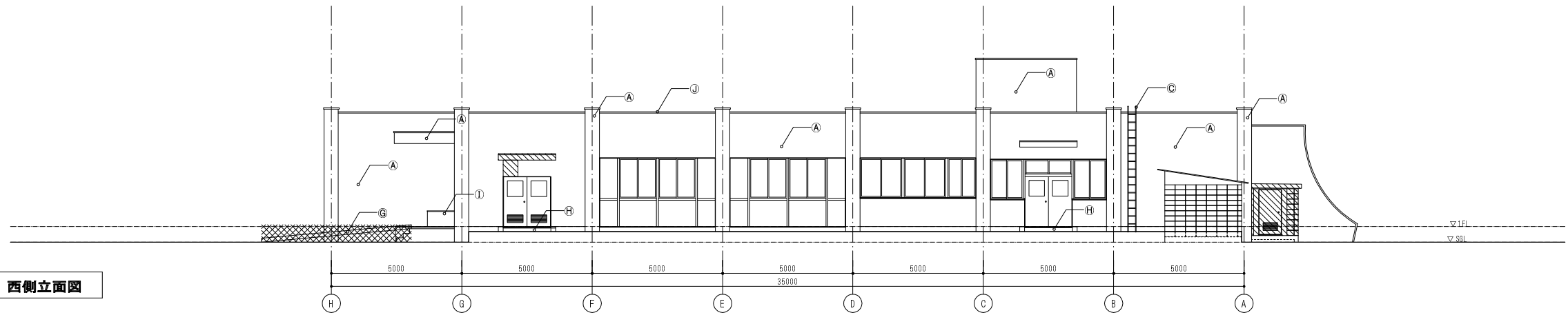
北側立面圖



東側立面図



南側立面图



西側立面圖

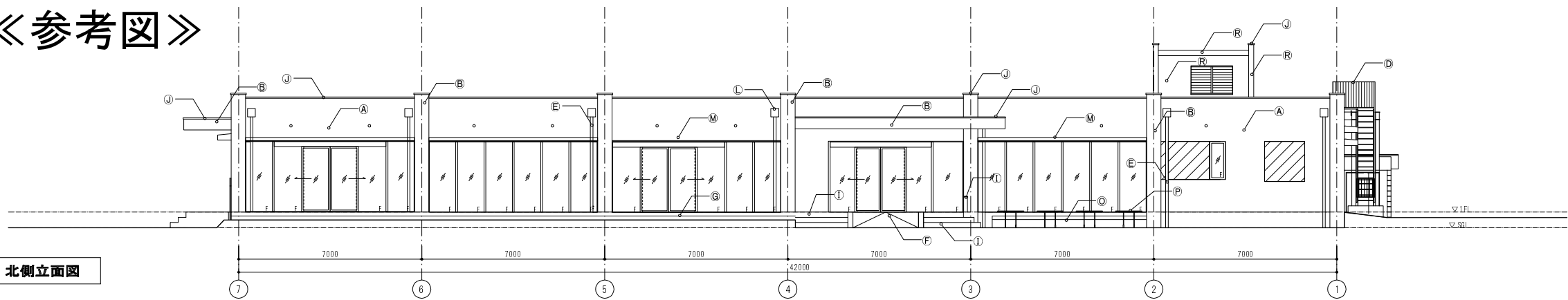
例	
(A)	外装薄塗材E（撤）
(B)	ペランダ手摺（SOP）（撤）
(C)	タラップ（SUS）（存）
(D)	飾り樹（撤）
(E)	縦樋 SGP 100 ㎉（撤）
(F)	150 角 クリンカータイル貼り（撤）
(G)	モルタル幕目立仕上（撤）
(H)	モルタル金ごて（存）
(I)	モルタル金ごて（撤）
(J)	アルミ笠木（取外し）
(K)	アルミ笠木（撤）
	既存コンクリート 壁撤去範囲
	既存ポーチ（コンクリートスラブ、碎石等含む）撤去範囲
	既存建物一部撤去範囲

特記事項

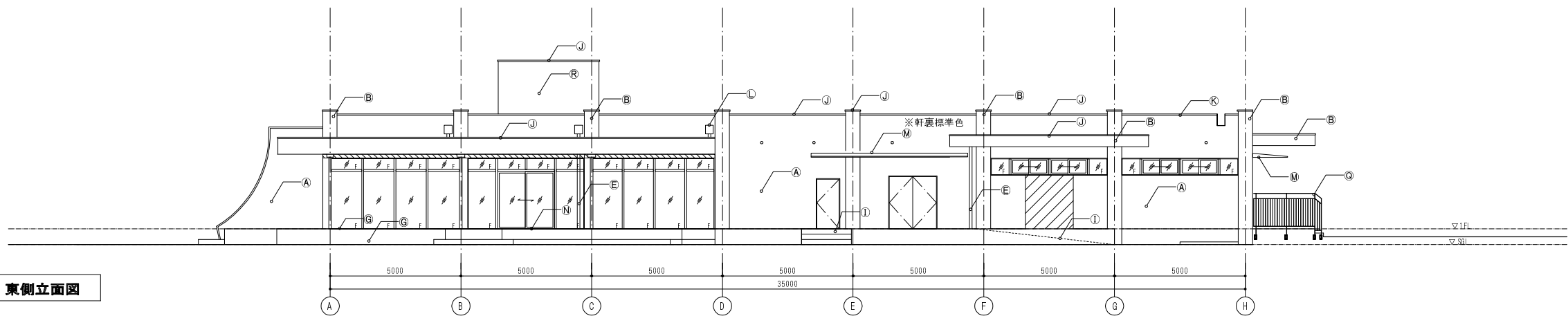
- ・(存) 既存存置部分を示す
- ・(撤) 撤去部分を示す
- ・特記なき限り、壁・柱・梁部分は外装薄塗材Eとする。
- ・特記なき限り、アルミ笠木は取外し再取付けとする。
- ・特記なき限り、既存サッシは全て撤去とする。

備 考	業務名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修設計業務		設計者 一級建築士 大臣登録第360022号 権名 秀和	工事名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修その他工事							縮尺 A1：1/100 A3：1/200		
	管理建築士 第2290-70143L号 一級建築士大臣登録第360022号 権名 秀和			図面名称 立面図（既存）									
	株式会社 唯設計		管 理 検 査 設 計 製 図	設計年月 2025年3月	2024 年度 東北大学施設部		部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	担 当	図面番号
	一級建築士登録 第295054号 日野 秀明				木 村	犬 戸	大 山	石 谷	川 崎	大 石	通し番号		

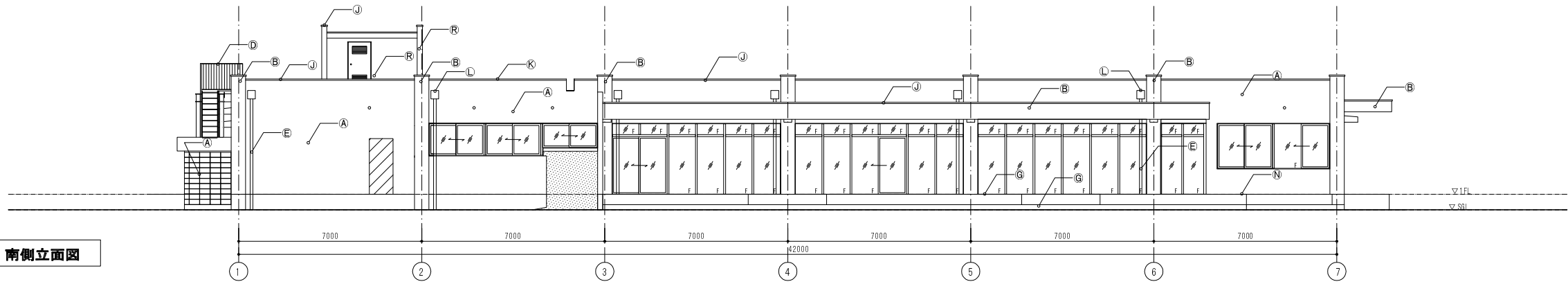
《参考図》



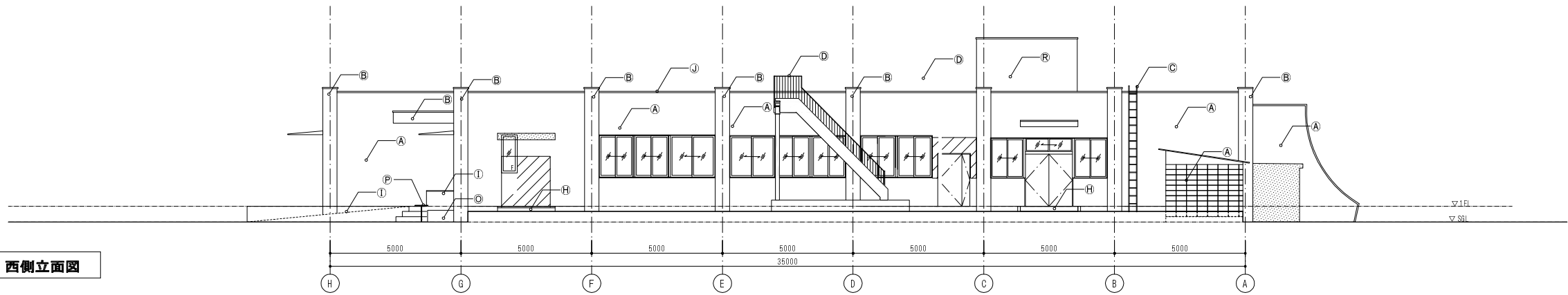
北側立面図



東側立面図



南側立面図



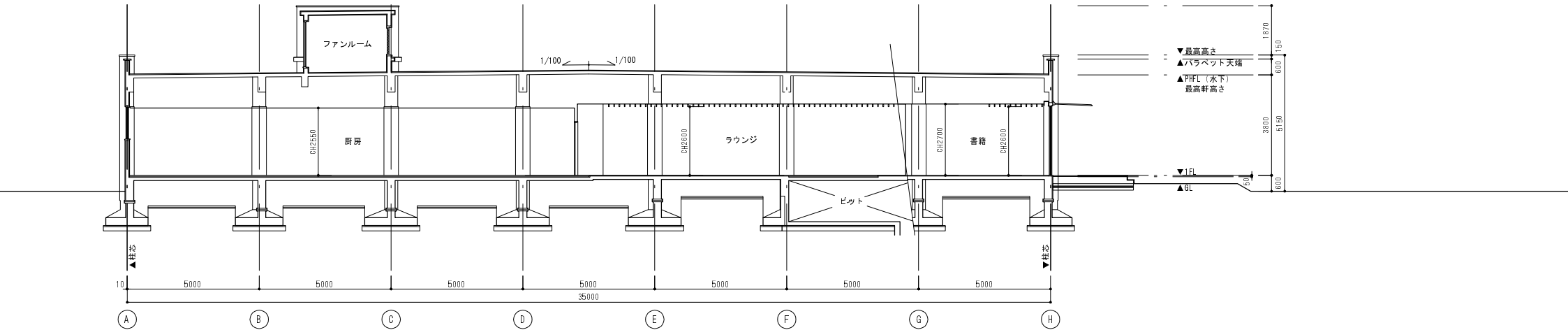
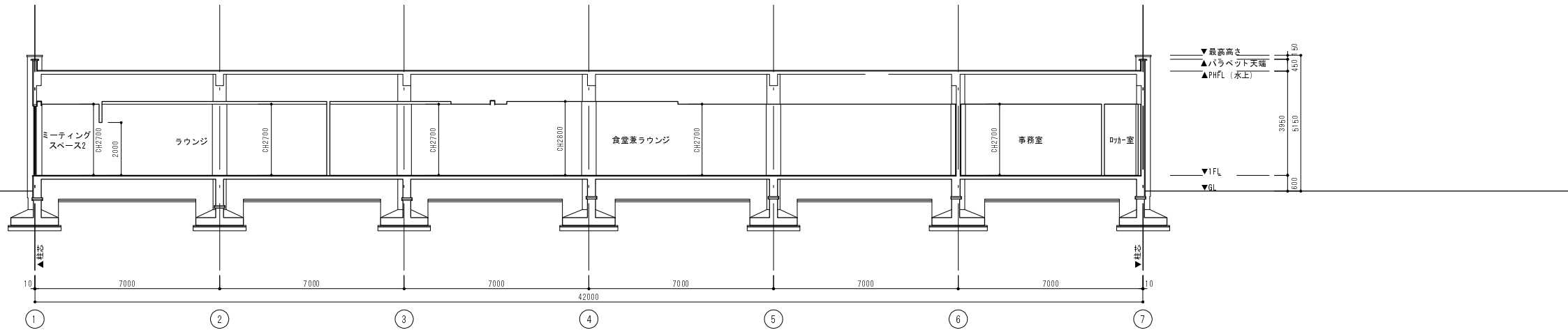
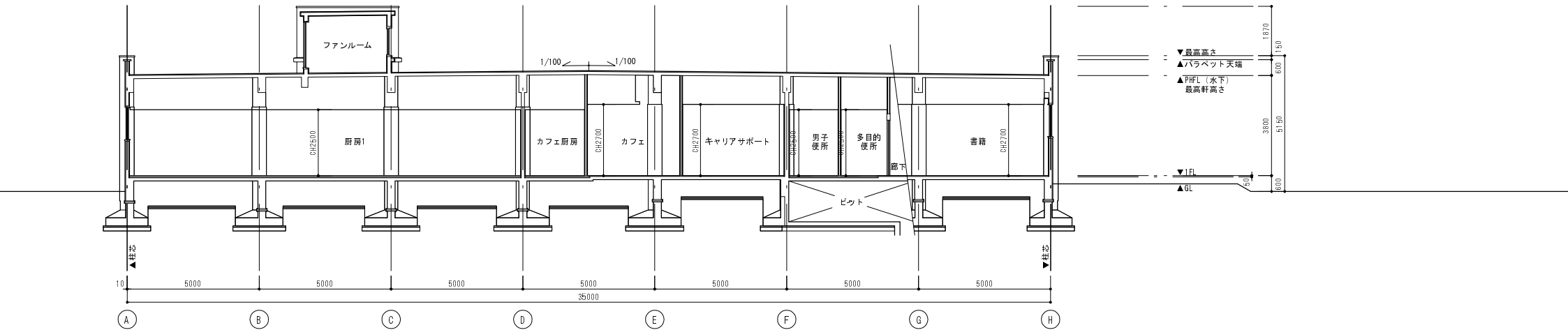
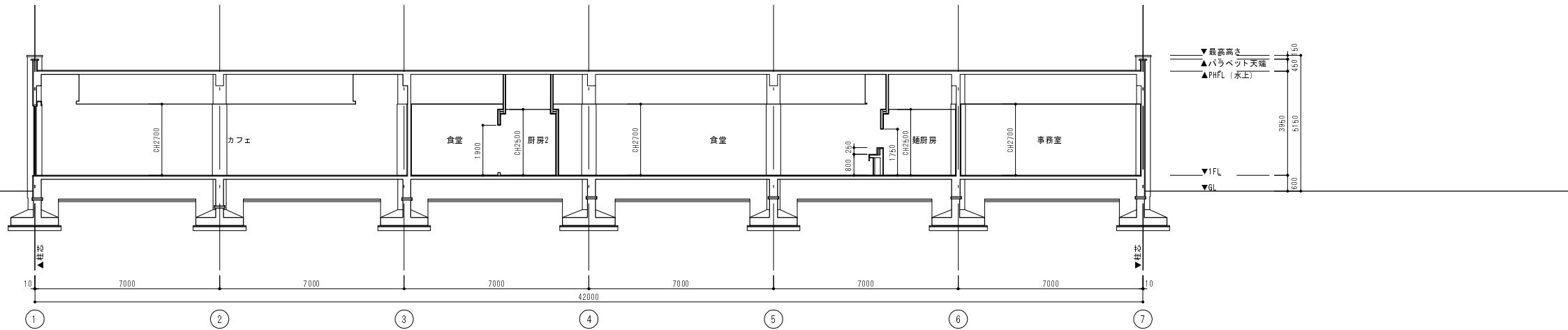
西側立面図

凡例	
(A)	下地補修+外装厚塗材E吹付 (模様：スクラッチライン) (新)
(B)	下地補修+外装厚塗材E吹付 (模様：プレス) (新)
(C)	タラップ (SUS) (存)
(D)	鉄骨階段 (新)
(E)	縦樋 SUS 100φ (新)
(F)	300角 防塵タイル貼り (新)
(G)	ウッドデッキ (新)
(H)	モルタル金ごて (存)
(I)	コンクリート金ごて (新)
(J)	アルミ笠木 (再取付け)
(K)	アルミ笠木 (新)
(L)	飾り樹 (SUS) (新)
(M)	アルミ 庇 D=1500 特記なき限り軒裏木目調 (既製品) (新)
(N)	ウッドデッキ付属ベンチ (新)
(O)	カフェ前RCベンチ D=800 H=450 (新)
(P)	カフェ前スチールテーブル W=1000 D=500 H=600 (新)
(Q)	St手摺 リン酸処理 FB 44×6 @90 H=1200
(R)	複層塗材 E (新)
	梁下部コンクリート充填範囲
	開口部閉塞範囲
	土間コンクリート新設範囲
	撤去後下地調整範囲

特記事項 ・ (存) 既存存置部分を示す
・ (新) 新設部分を示す
・ 特記なき限り、アルミ笠木は取外し再取付けとする
・ 屋上外断熱防水は、遮熱仕様とする

備 考	業務名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修設計業務		設計者 一級建築士 大臣登録第360022号 姓名 秀和	工事名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修その他工事						縮尺 A1：1/100 A3：1/200			
	管理建築士 第2290-70143L号 一級建築士大臣登録第360022号 姓名 秀和		図面名称 立面図（改修）										
	株式会社 雄設計		管 理 検 図 設 計 製 図	設計年月 2025年3月	2024 年度 東北大学施設部		部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	担 当	図面番号
	一級建築士登録 第236054号 日野 秀明					木 村	矢 戸	大 山	石 谷	川 崎	大 石	通し番号	

《参考図》



備 考	業務名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修設計業務		設計者 一級建築士 大臣登録第360022号 姓名 秀和	工事名称 東北大学（川内１）川内南コモンズ（文科系）改修その他工事							縮尺 A1：1/100 A3：1/200	
	管理建築士 第2290-70143L号 一級建築士大臣登録第360022号 姓名 秀和		図面名称 断面図（既存・改修）									
	株式会社 雄設計		管理 検 図 設 計 製 図	設計年月 2024 年度	2025年3月					東北大学施設部		
	一級建築士登録 第295054号 日野 秀明				部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	担 当		図面番号
					木 村	矢 戸	大 山	石 谷	川 崎	大 石	通し番号	